

Microsoft.NET Framework インストール手順

【1. はじめに】

以下のバージョンより、@dream をご利用される際には「Microsoft.NET Framework 2.0」以降のバージョンと「Microsoft.NET Framework 4」が必要となります

- ・ @dream-Progre 売買版 Ver. 4 以降、@dream-Progre 賃貸版 Ver. 4 以降

オペレーションシステムが Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2 の場合は、以下の章を参照してください。

【5. Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2 への .NET Framework 3.5 インストールについて】

※ 「Microsoft.NET Framework2.0」以上がインストールされていない場合、@dream を起動すると下図のようなエラー画面が表示されます。



または



また、動的 HP やブログ投稿機能などを起動しようとするとき以下のようなエラー画面が表示される事があります。これは、「Microsoft.NET Framework 4」がインストールされていない場合に表示されます。



- ①【2. Microsoft .NET Framework インストール確認方法】をご参考の上、必要な Framework がインストールされていない場合はインストール手順に従い、ご利用される PC にインストールを行ってください。

Microsoft .NET Framework 2.0 以降がインストールされていない場合

【3. Microsoft .NET Framework 2.0 以降インストール手順】

Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていない場合

【4. Microsoft .NET Framework 4 インストール手順】

その他オプションソフトのインストール、@dream データ移行、全ての作業が完了後、「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「Windows Update」をクリックし、Windows を最新の状態に保ってください。

.NET Framework および OS を最新の状態に更新してください。

優先度の高い更新プログラム
これは、システム全体に関わる更新プログラムまたは複数の問題を解決する更新プログラム。更新プログラムとは別にインストールする必要があります。
まず、この更新プログラムをインストールし、その後ホーム ページに戻って、他に優 更新プログラムが必要でないか確認することをお勧めします

Microsoft Windows Server 2003

[.NET Version 2.0 ~ 3.5 用 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 およ び .NET Framework 3.5 ファミリー更新プログラム \(KB951847\) x86](#)

ダウンロード サイズ: 69.2 MB , 2 分
Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 は、.NET Framework 2.0、3.0、3.5 上で過去提供された多数の新機能や、.NET Framework 2.0 と .NET Framework 3.0 のサブコンポーネントに対してこれまで提供されてきたサービス更新プログラムすべてを含む、累積的な更新プログラムです。.NET Framework 3.5 ファミリー更新プログラムでは、アプリケーションの互換性に関する重要な更新が行われています。この Service Pack と更新プログラムの組み合わせは、.NET Version 2.0 ~ 3.5 に適用可能です。 [詳細...](#)

.NET Framework 2.0~3.5 (Service Pack 含む) および OS の Service Pack を全て更新してください

Microsoft Windows Server 2003

[Microsoft .NET Framework 4 用セキュリティ更新プログラム、Windows XP x86、Windows Server 2003 x86、Windows Vista x86、Windows 7 x86 および Windows Server 2008 x86 向け \(KB2656351\)](#)

ダウンロード サイズ: 5.4 MB , < 1 分
認証されていないリモートの悪意のあるユーザーが、お使いのシステムのセキュリティを侵害して、そのシステムを制御できるというセキュリティの問題が発見されました。この更新プログラムをインストールすると、お使いのシステムを保護できます。インストール後は、システムの再起動が必要になる場合があります。 [詳細...](#)

この更新プログラムを非表示にする

.NET Framework 4.0 (Service Pack 含む) を最新に更新してください

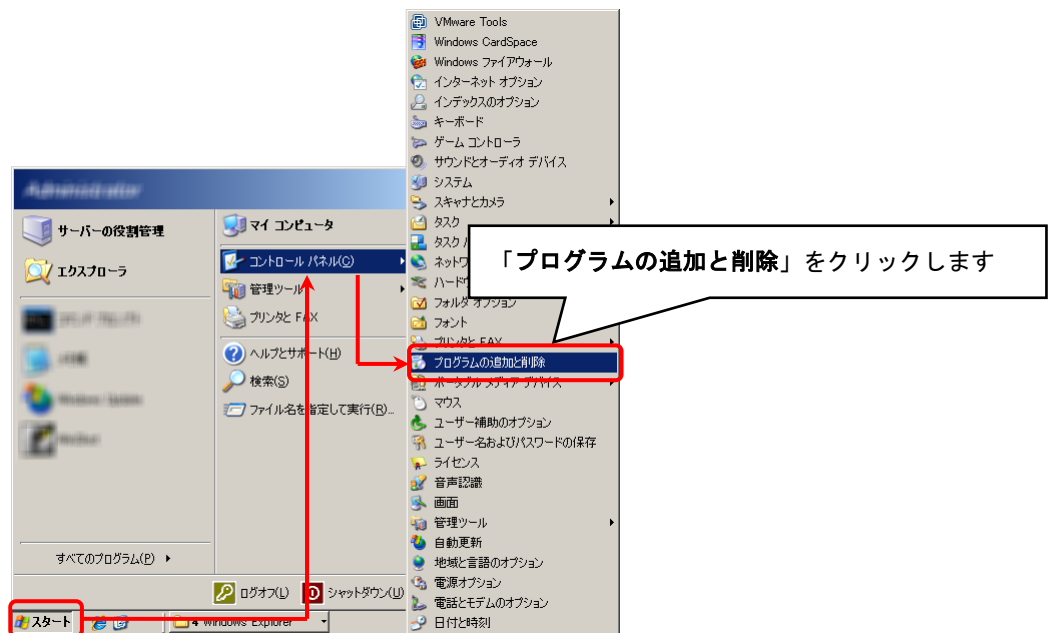
【2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法】

※確認、インストールは「Administrators 権限」を持つユーザーで行ってください。

Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2 の場合

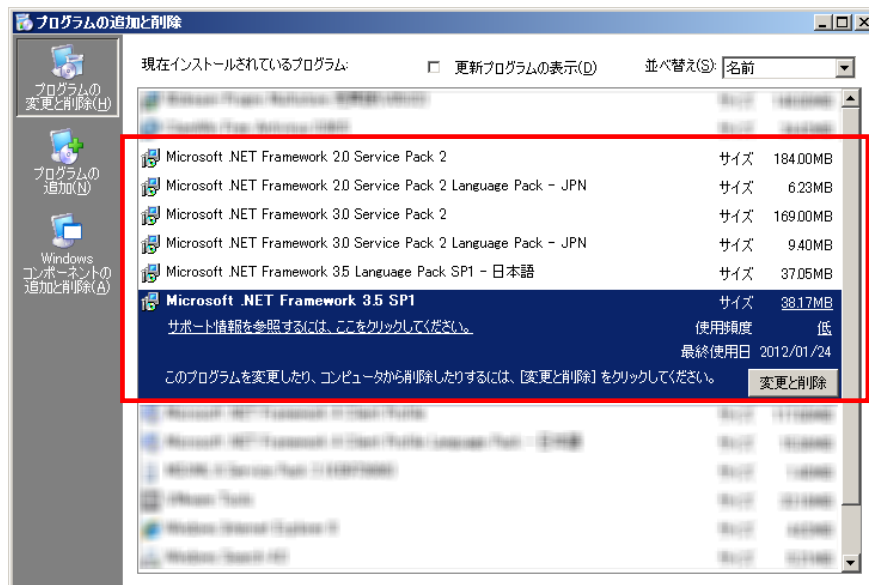
① 「プログラムの追加と削除」画面を開きます。

「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」をクリックします。



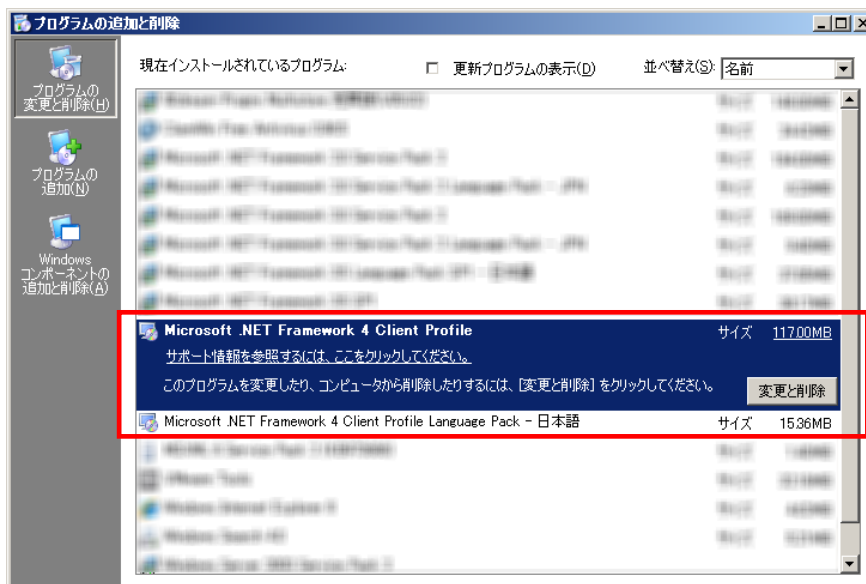
② 「Microsoft.NET Framework2.0」以降がインストールされていることを確認します。

(画面は Microsoft.NET Framework2.0～3.5SP1 までインストールしています)



③上記と同様に「Microsoft .NET Framework 4 Client Profile」がインストールされていることを確認します。

※ 説明では Framework4 となっていますが、インストールされる物は Microsoft .NET Framework 4 Client Profile となります。

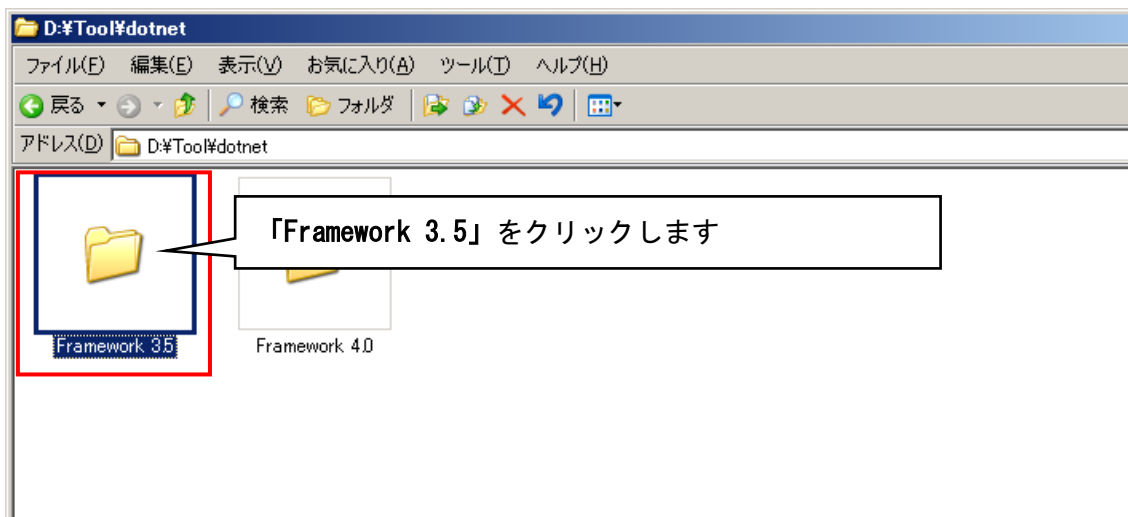


【3. Microsoft.NET Framework 2.0 以降インストール手順】

※【2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法】の手順で Framework の確認できない場合は以降の手順でインストールを行ってください。

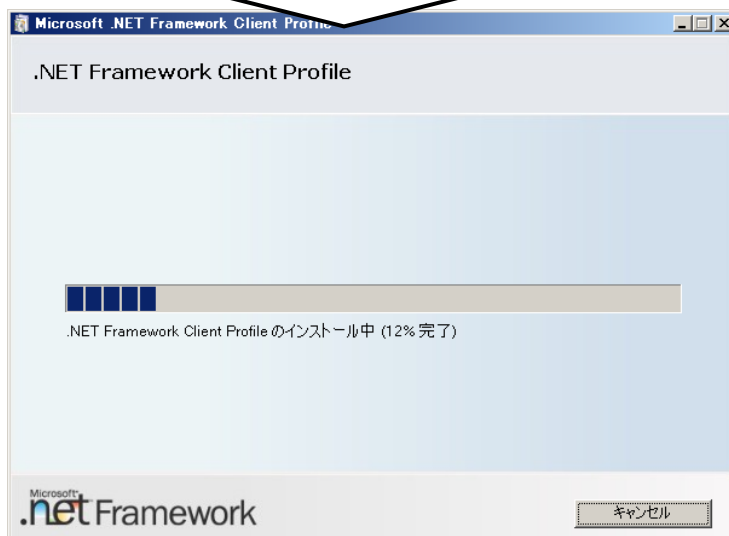
Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2 の場合

- ① @dream のインストール CD を CD ドライブにセットしてください。
- ② 「DotNetFx35ClientSetup.exe」をインストールします。
 - i CD ドライブから「Tool」→「dotnet」→
「Framework 3.5」→「DotNetFx35ClientSetup.exe」をダブルクリックします。



- ii 画面に従って「Microsoft .NET Framework Client Profile」をインストールします。

『同意する』ボタンをクリックし、インストールを進めます。



iii 以下のような画面が表示されればセットアップ完了です。

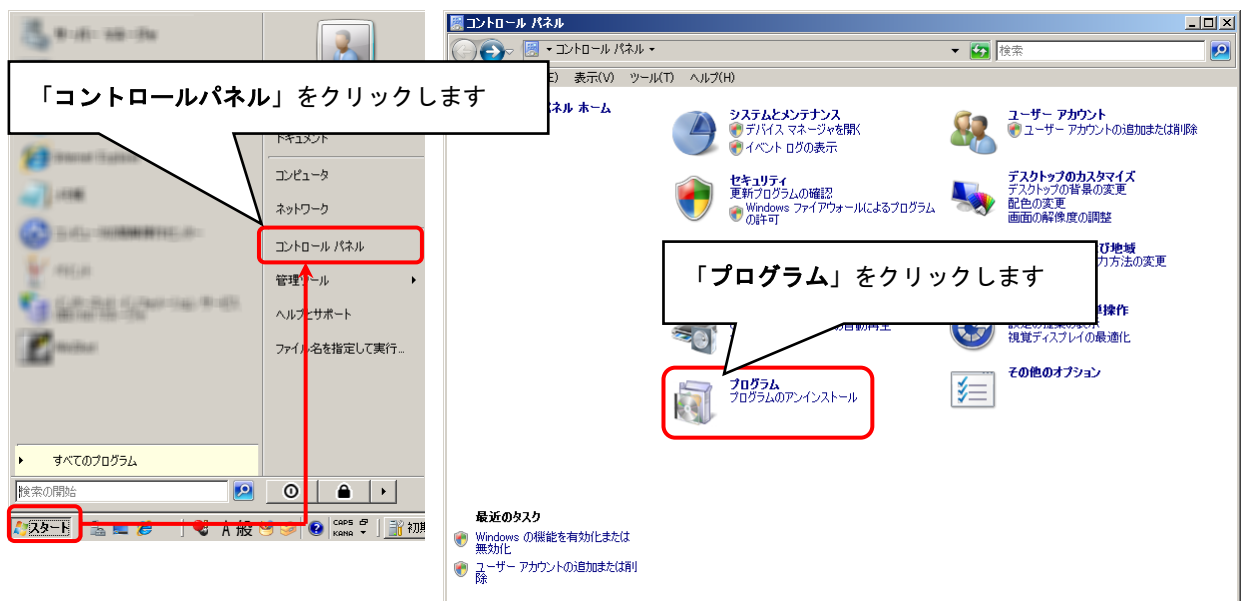


Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 の場合

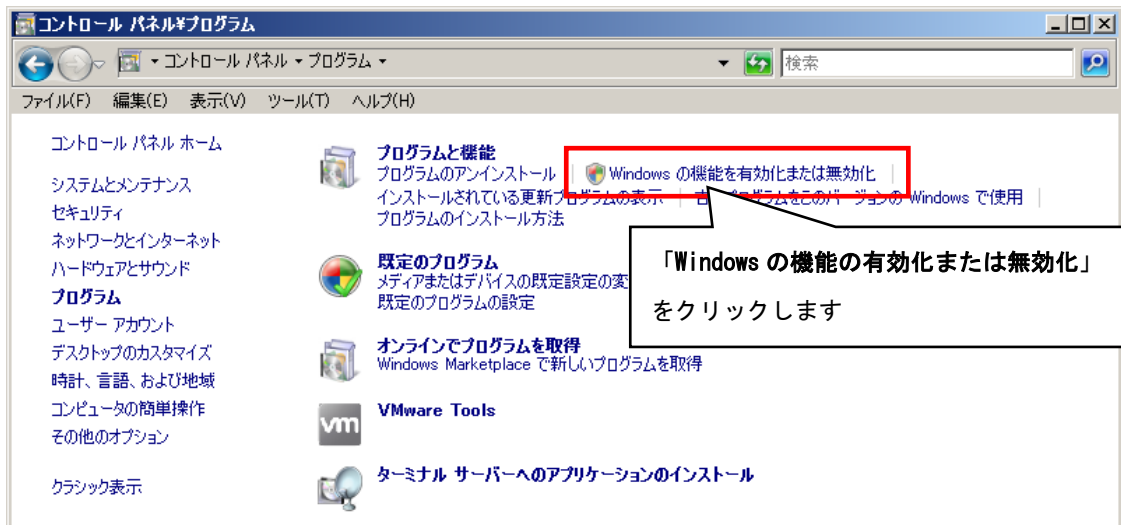
Windows Server 2008/ 2008 R2 では標準で「Microsoft.NET Framework 2.0」以降がインストールされていますが、念のためご確認ください。

① 「プログラム」画面を開きます。

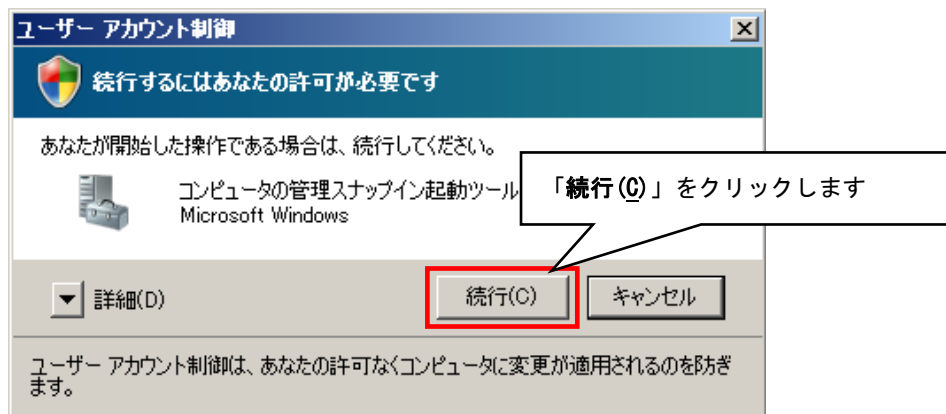
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」をクリックします。



② 「Windows の機能を有効化または無効化」をクリックします。

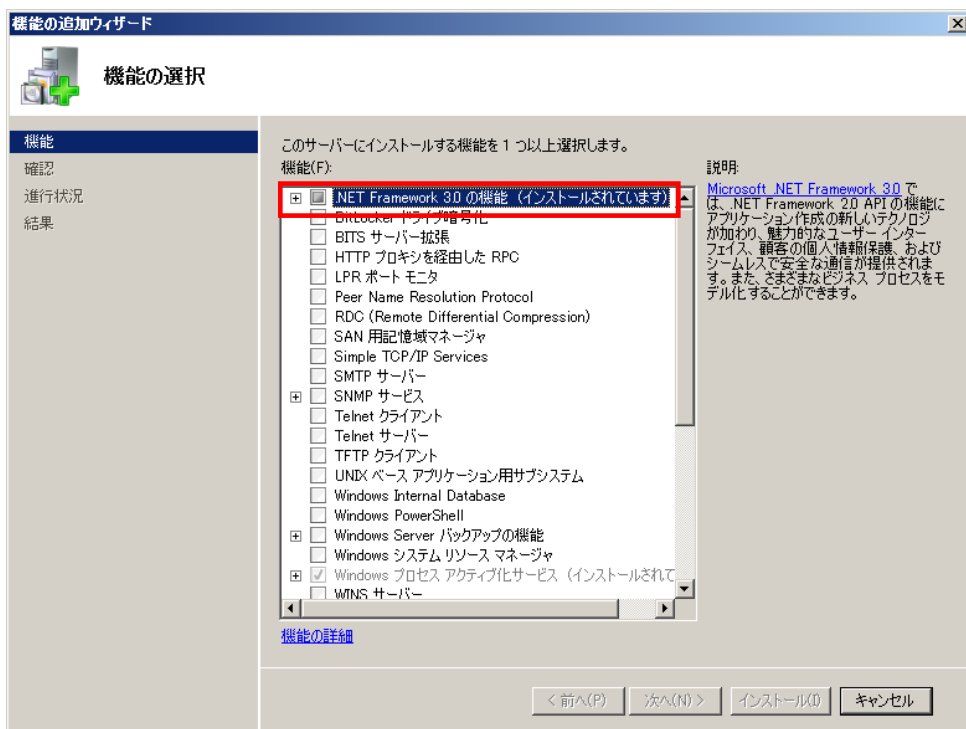
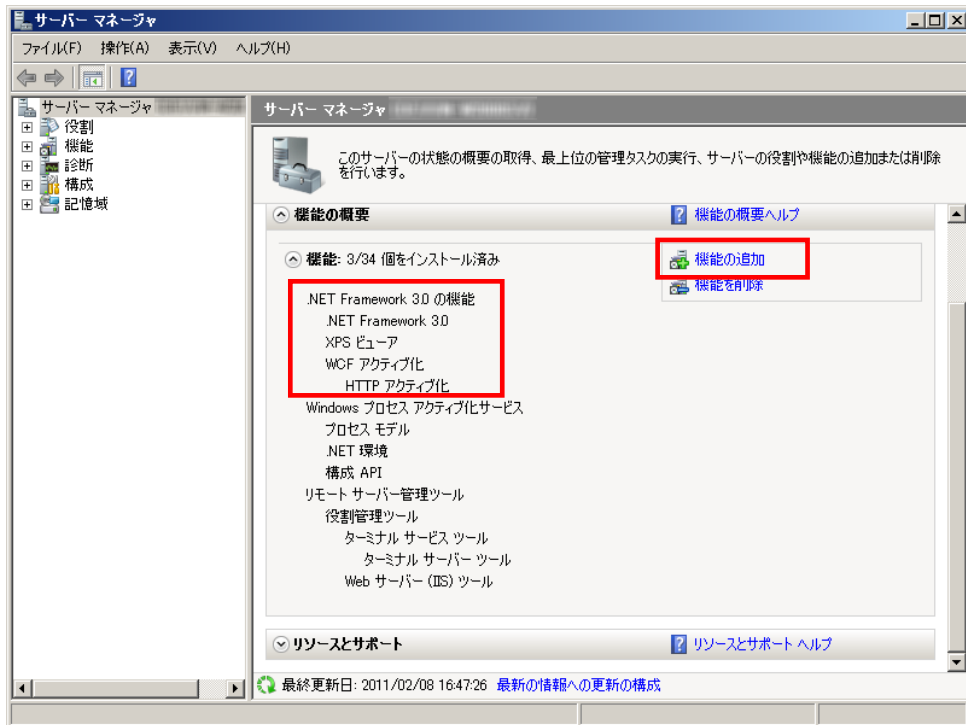


③ 「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」ボタンをクリックします。



- ④ 「サーバーマネージャー」画面で「機能の概要」→「機能」から「.NET Framework *.*の機能」が存在するか確認します。インストールされていない場合は、「機能の追加」から「機能の追加ウィザード」画面を開き、「.NET Framework *.*の機能」をインストールしてください。

※「*.*」の番号はOSによって変わります。

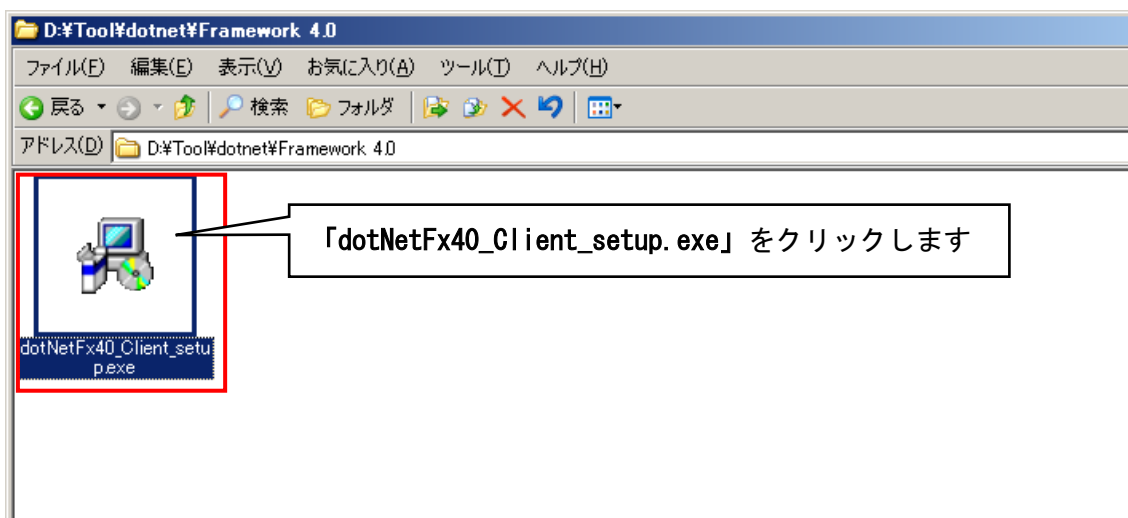
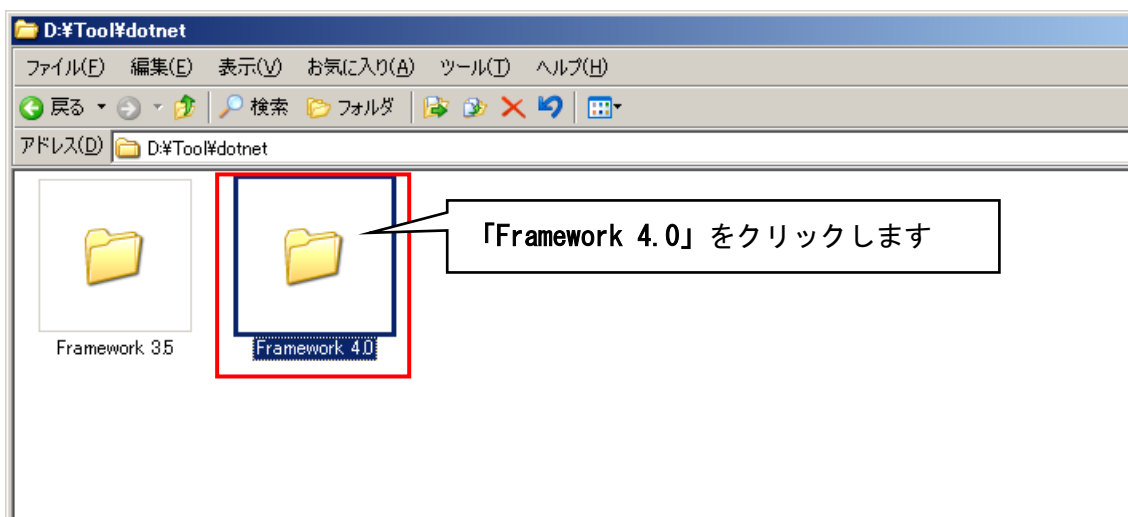


【 4. Microsoft.NET Framework 4 インストール手順 】

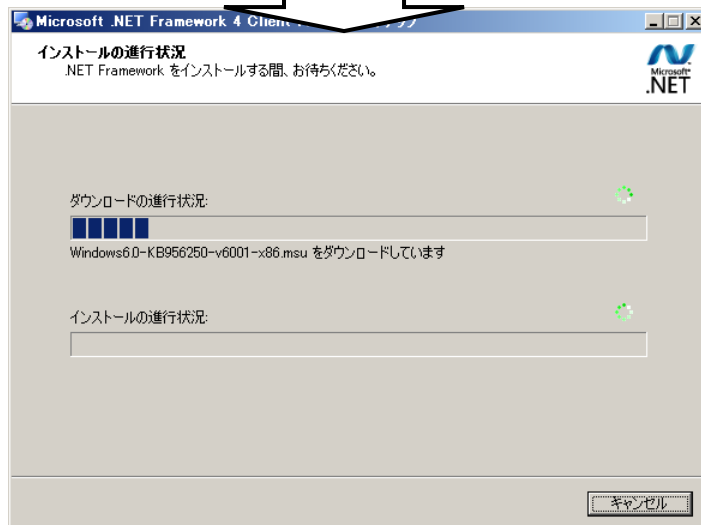
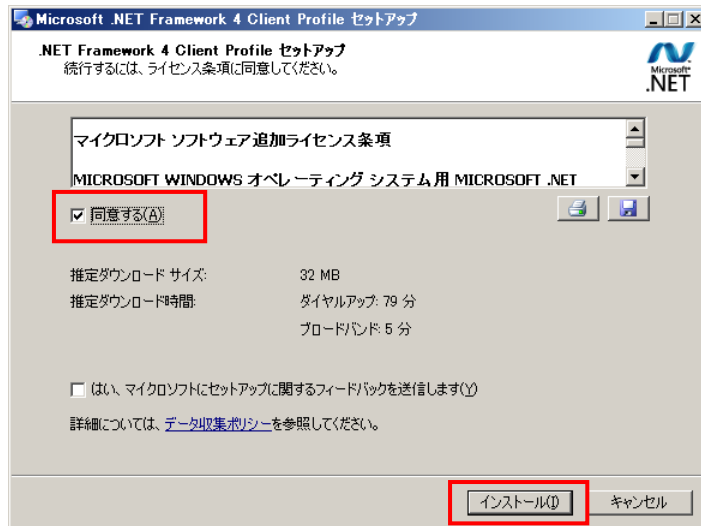
※【 2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法 】の手順で Framework の確認できない場合は以降の手順でインストールを行ってください。

※手順は Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2、Windows Sever 2008/ Windows Server 2008 R2 で共通です。

- ① @dream のインストール CD を CD ドライブにセットしてください。
- ② 「dotNetFx40_Client_setup.exe」 をインストールします。
 - i. CD ドライブから 「Tool」 → 「dotnet」 → 「Framework 4.0」 → 「dotNetFx40_Client_setup.exe」 をダブルクリックします。



- ii 画面に従って Microsoft .NET Framework 4 Client Profile をインストールします。『同意する』にチェックを付け、『インストール』ボタンをクリックしてください。



iii 以下のような画面が表示されればセットアップ完了です。



【5. Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2 への .NET Framework 3.5 インストールについて】

※手順は Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2 で共通です。

はじめに

.NET Framework 4.5 は OS に含まれており、オペレーティング システムと共にコンピューターにインストールされますので、.NET Framework 4 (または、.NET Framework 4 Client Profile) をインストールする必要はありません。

ただし、.NET Framework 3.5 は OS と共に自動的にインストールされません。

@dream-Progre を Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2 で起動するには、.NET Framework 3.5 をインストールする必要があります。

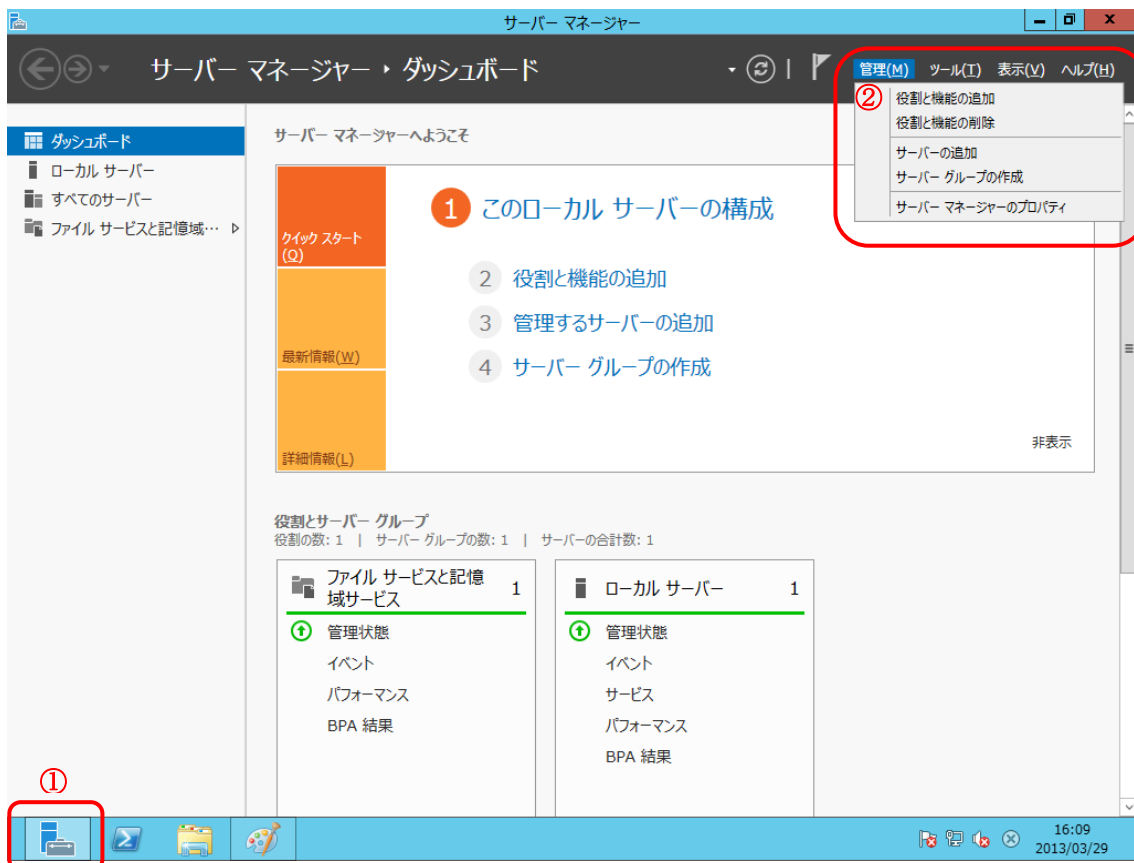
以下の手順に従ってお使いのサーバーにインストールを行ってください。

※インストール作業は Administrator 権限を与えているユーザーで行ってください。

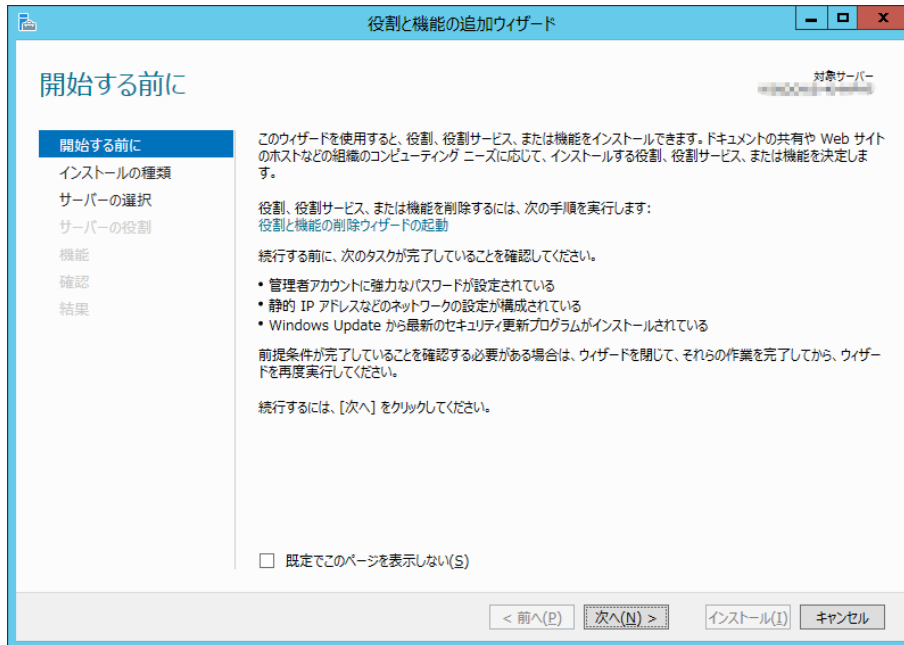
Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールを行う

まず、サーバーの CD ドライブに Windows Server 2012/ Windows Server 2012 R2 の OS ディスクを挿入しておきます。

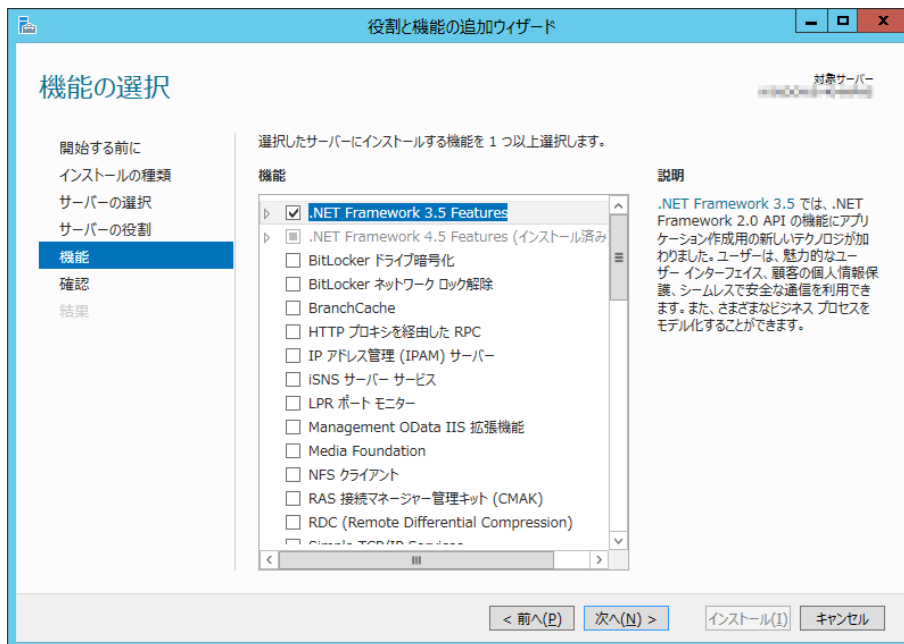
次にタスクバーの①をクリックし、サーバーマネージャーを起動します。



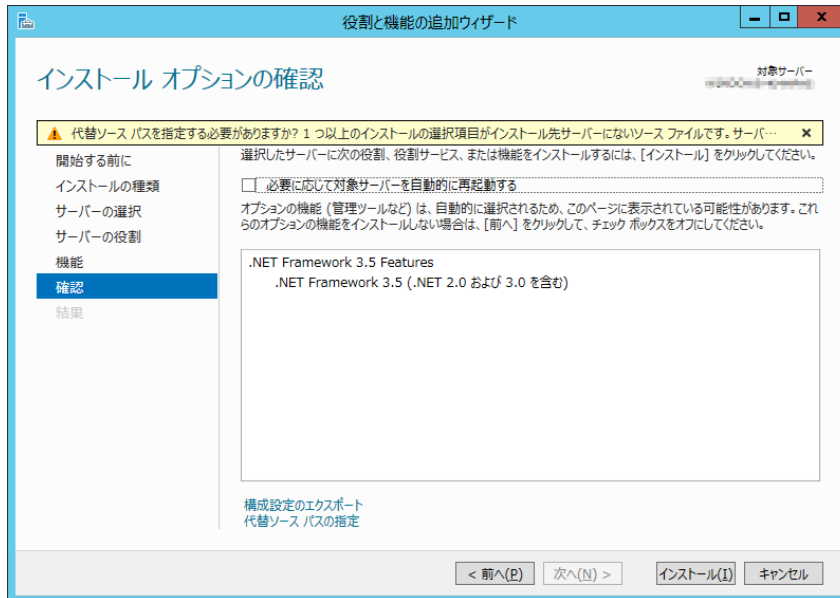
役割と機能の追加ウィザードが表示されますので、「サーバーの選択」をクリックします。選択後、「機能」が選択可能になりますので、選択してください。



機能の一覧から「.Net Framework 3.5 Features」にチェックを入れます。チェック後、「次へ」をクリックしてください。

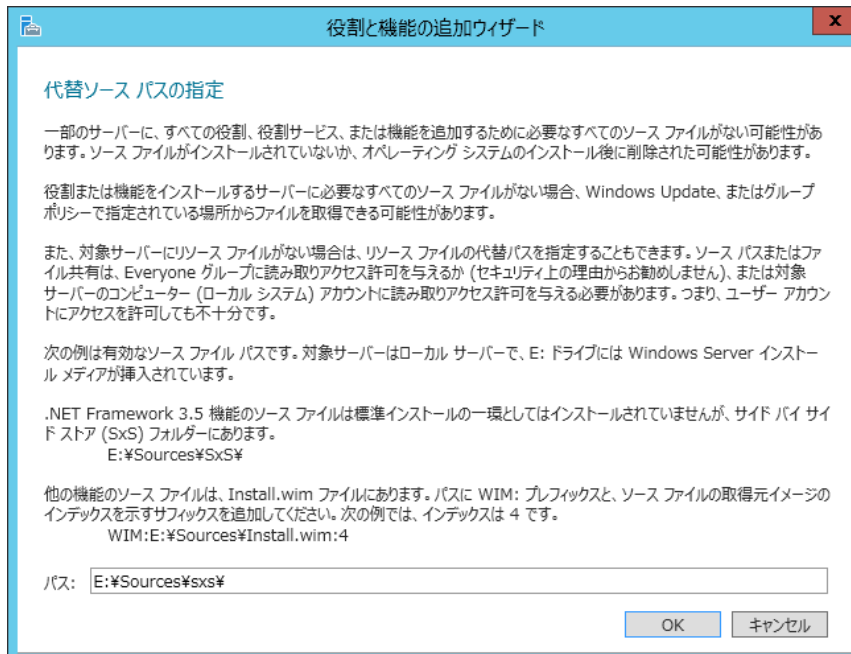


インストールオプションの確認画面が表示されますので、画面下部の「代替ソースパスの指定」リンクをクリックしてください。

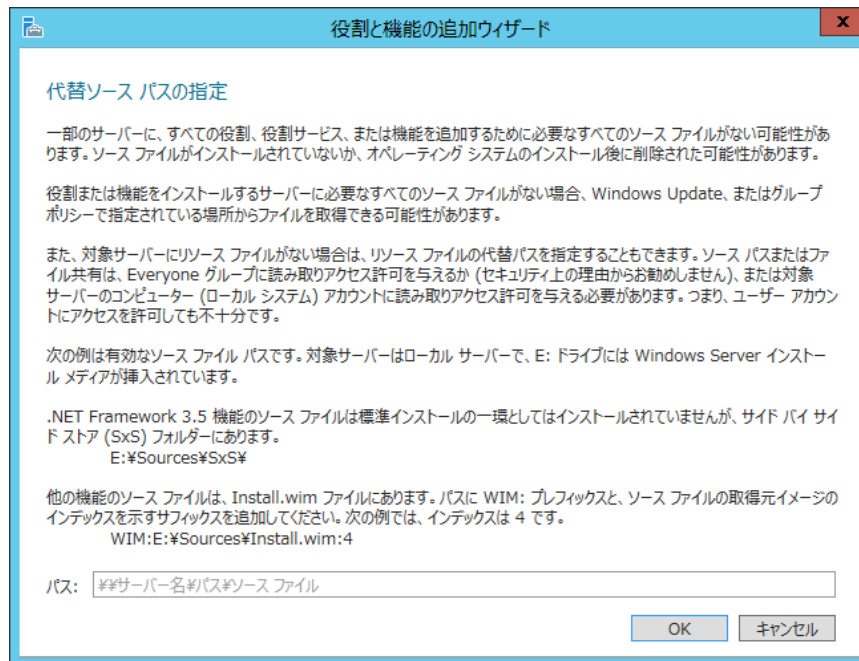


代替ソースのパスを指定する画面が表示されます。

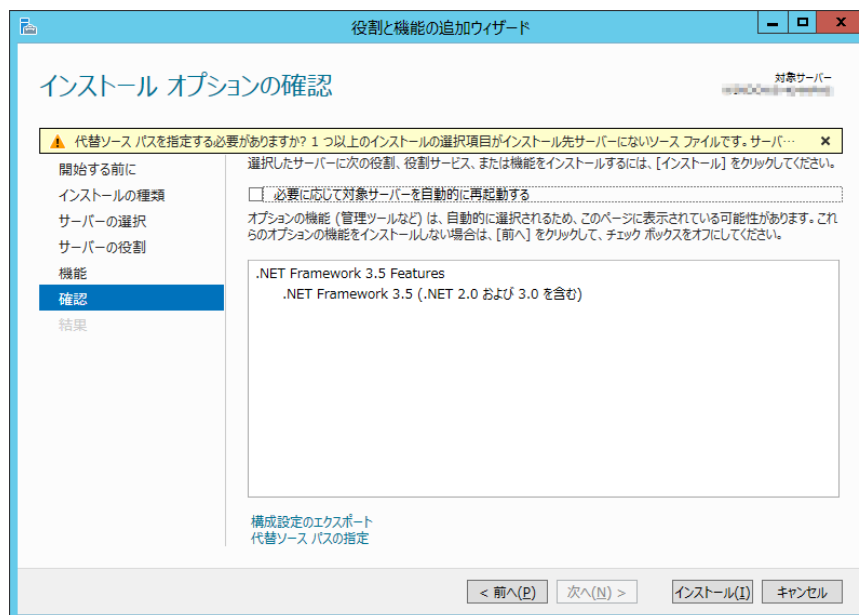
OS ディスクを CD ドライブに挿入している場合、パス入力欄に自動的に代替ソースのパスが入力されていますので、「OK」をクリックしてください。



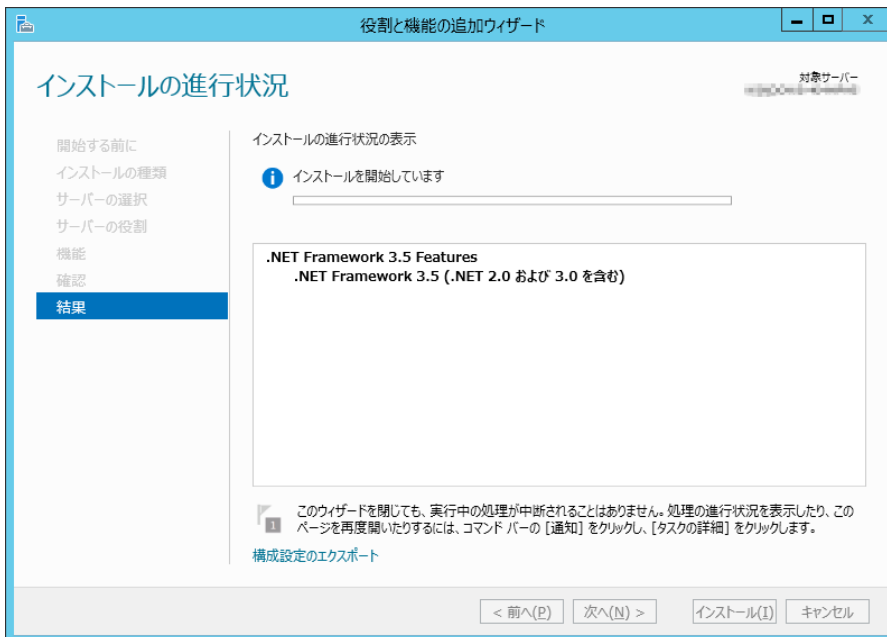
OS ディスクを CD ドライブに挿入していない場合は、入力欄は以下のようになりますので、OS ディスクを挿入し、パス入力欄に **CD ドライブ:¥Sources¥sxs¥** と入力し、OK をクリックしてください。



OK クリック後、インストールオプションの確認画面に戻りますので、「インストール」をクリックしてください。



Microsoft .Net Framework 3.5 のインストールが開始されます。



Microsoft .Net Framework 3.5 のインストールが完了しました。
「閉じる」をクリックしてください。

